

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45 (17)	3名の方のみ湯船に浸ることができるが、あと6名の方々は、ゆっくりとお湯に浸かりリラックスすることができていない。 入浴の目的は清潔保持だけではなく「楽しみ」としての目的もあるはず。	入浴を清潔保持のみの捉え方ではなく「楽しみ」としても捉える方向で検討する。	ゆっくりとお湯に浸かる環境ができるよう、浴槽にリフトの設置を行う。 3月に業者及び取り付け機器を確定しており、5月に設置予定としている。	3ヶ月
2	40 (15)	検食が施行されていない。自分好みの味付けや食材の切り方になっていないか。	すぐにも取り掛かる。 食事作りに、より緊張感を持つことで、減塩や食材の煮方などにもっと配慮できるようになる。	朝食は早出で検食し、夕食は夜勤者で検食する。検食記録を作成し、ありのままを記入する。 ご利用者を思い、職員同士での遠慮は排除する。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。